

1. 指定管理者名	一般財団法人 たじみ・笠原タイル館
2. 指定期間	平成28年4月1日 ~ 平成33年3月31日
3. 業務の範囲	(1)多治見市モザイクタイルミュージアムの事業の実施に関すること (2)多治見市モザイクタイルミュージアムの維持管理に関すること (3)観覧料、利用料金に関すること (4)減免対象者の利用に関すること (5)施設等の利用許可に関すること (6)その他の業務

4. 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	0	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点				
			②利用人数	10	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点 ※ミュージアムの配点については、『①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)』5点除除のため、『②利用人数』の得点を2倍する	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不相当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(92%) = 利用人数 12,545人【月平均】 ÷ 13,630人【開館当初年度は6月開館のため前年度まで過去22ヶ月の平均】 (上記(2)適用)	95%未満~85% 3点	H30年度入館人数 150,546人 << H29年度:176,493人 >> 【1日平均 488人/日(H30年度) << (H29年度)573人/日(H28年度)481人/日 >>】 ・体験工房利用者 51,930人(H30年度) << 56,828人(H29年度) >> 開館2年目となった平成29年度の入場者実績を超えることはできなかったが、月別では前年実績を超える月もあり、高止まりはみられるものの、一定の入館者数を維持した結果となった。引き続き、メディアや情報誌に多く取り上げられ、独創的な形状建築の魅力や、「モザイクタイル」そのものに対する興味や関心、SNS等で来館者からの情報が広く拡散されたことにより、来館者数を維持している。 しかしながら、継続的に多くの方に来館いただけるよう平成31年度では、「2階産業振興フロアのリニューアルを活用した展開」や「開館3周年催事」、「来館者数50万人イベント」等、新たな企画や催事等を実施していく必要性について協議を進めている。 平成30年4月1日には来館者が30万人、平成30年10月28日に来館者数40万人。	6点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	0	仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点					
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	30	内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る:2~0点 ※ミュージアムの配点については、『(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)』15点除除のため、『(3)自主事業の企画・運営・実施』の得点を2倍する	●仕様書では、企画展を年2回以上、体験工房年4メニュー程度、体験学習(ワークショップ)年2回以上、講座・セミナー年2メニュー程度としている。 ・企画展年間4本、「東京の銭湯とタイル~おとめ湯めぐって~」、「数瓦の世界-「タイル」の前の物語」、「まちかどの近代建築写真展~タイルに出会う旅~」、「グセアルス展ハターン・シード~漣う未来模~」を実施。 ・体験工房では、ワンコイン工作(フォトフレーム等制作)、目仕込み体験を実施し、利用者51,930人。また、体験工房の特別講座「ちよここと体験 数瓦」を開催。 ・企画展関連ワークショップ、講座・セミナー等年間9回、参加者215人。 ・その他の自主事業、協力事業 参加者539名。	期待以上 14点	仕様書どおりの事業が不足なく行われている。 企画展に合わせた関連企画として見学ツアーやワークショップ、ギャラリートーク等を必ず開催し、いろいろな視点で企画内容の周知や知識の浸透を行っている。また、有識者や関連機関、近隣市からも連携協力を得て実施している。 体験工房では、手軽にタイル貼り体験ができるワンコイン工作が引き続き盛況。 自主企画では、6月には開館2周年を記念し、昨年に引き続き入館先着者3,000名へ記念タイルの贈呈、産業振興フロアで展示終了となったタイルパネルのプレゼントを実施。他に、ナイトミュージアム「ナイトミュージアム×コンサート」を開催し好評を得た。 また、笠原中央公民館前タイル広場を活用して来館者向けに物品販売を自主事業としてスタートさせた。	28点			
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する(適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	適正に実施されている 施設周辺他施設と連携して月1回(第3木曜日)地域清掃を実施している	適正(普通) 2点	・掃除機、モップ等による清掃を毎日実施。 ・業者による床清掃(ワックス塗布)を年1回実施。 ・受付、事務所が常に整頓されている。	10点
			②保守・点検			適正に実施されている	適正(普通) 2点	照明、空調、給排水などの設備を日常的に点検。空調は、定期的にフィルターを取替えている。植栽等の剪定を適宜実施している。	
			③保安・警備			適正に実施されている	適正(普通) 2点	館内に監視カメラを設置し、作品の監視、来場者の安全を確保。防火管理有資格者を配置。	
			④小規模修繕			タイルの剥がれ、水漏れ対応等、適正に実施されている	適正(普通) 2点	市への連絡も含め、適宜対応している。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			適正に実施されている	適正(普通) 2点	外階段など危険箇所を把握し、安全確保に努めている。	
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	適正に実施されている	適正(普通) 2点	文書はキャビネットやレターケースで適切に管理。	10点	
		②環境への配慮			適正に実施されている	適正(普通) 2点	社内用の文書には、古封筒や裏紙を使用。		
		③バリアフリー			適正に実施されている	適正(普通) 2点	通路、展示室、工房の出入り口など、車椅子等に十分対応できる広さが保たれており、また段差もない。		
		④備品管理			適正に実施されている	適正(普通) 2点	管理者備品については、市とは別の台帳で管理されている。		
		⑤個人情報保護			適正に実施されている	適正(普通) 2点	個人情報が含まれる書類等については、鍵のかかるキャビネットで保管し、パソコンでは、個人情報パスワードをかけて共有フォルダーで管理している。		
⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等への対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故等に対し、適宜対応した 展示物の破損(2件)、屋外照明の破損(1件)発生	事故なし・対応に不備なし 0点	事故等については適宜対応。市へも報告あり。	0点			
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満~100%:4点、100%未満:3点	収入 147,526,826 ÷ 支出 108,620,069 = 136%	105%以上 5点		5点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10~8点、適正(普通):7~5点、不備あり:4~1点	来場者へのアンケートを実施し、改善内容を適宜実施している。 ・施設内有料・無料エリアの入場方法について、入場者の区別がはっきりしない状況を入館シールの導入、運用ルールの見直しを実施。 ・飲食に関する希望について、モザイクタイルミュージアムの自主事業として、土、日曜日にタイル広場でキッチンカー等で飲食店を出店できるよう市側と協議の上実施に至った。	期待以上 8点	・1階暖炉前にアンケートを常設し、来場者のニーズの把握に努めている。 ・要望等について、必要な改善点を洗い出し適切な対応を実施している。 ・特に、施設入館口が同一で、無料となる2階フロアへの入館方法については、2階フロア改修等に伴い、有料入館者と2階フロアの無料入館者の区別化の仕組みを実施した。 ・館内連携の2階産業振興フロアでは、来館者を含めたエンドユーザーへタイルの活用方法を提供できる場として、インテリアコーディネーターによるタイル相談会を開催するとともに、フロアのリニューアルにより、活用方法を視覚的にわかりやすく提案する場となった。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3~1点 ※苦情なしは4点とする	苦情に対し、適宜対応された	苦情なし・適正(普通) 4点	アンケートやメールでの要望等に適宜対応している。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15~12点、適正(普通):11~9点、普通未満~物足りない:8~0点	・新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等マスコミの取材年間276件(前年220件) ・細かなマニュアルの見直しや、視察等による職員研修の実施による接客の向上、業務改善の取り組みを実施。 ・2階の産業振興フロアの全面リニューアルに伴い、生活スタイルにあったタイルの新たな活用方法を提案することができた。	期待以上 14点	マスコミの取材対応に丁寧な対応がなされた。多数の取材があった前年を上回る結果となっている。 取材対応件数は掲載数は大変評価できる。 また、「モザイクタイルミュージアムが全国的に周知されることにより、タイルの知名度や注目度の高まりもあり、産業振興に寄与している。	14点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施されている			遅れ・不備なし 減点なし	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	特になし			指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	0点
【4段階評価】								合計85点	

合計

100	極めて良好	100～85点
	良好	84～65点
	努力が必要	64～45点
	取消し等を検討	44点以下

全体的な評価
事業に関しては仕様書どおり大変良好に実施され、知名度、集客効果も十分図られている。

極めて良好